

分野：⑬SDGs

## (生物と地球環境)

環境アドバイザー

神山 裕則

対象 川口市立柳崎小学校（94人）  
場所 6年生

所要時間 2時間  
実施時期 令和3年3月18日

## 概要

SDGsについて  
ボルネオと日本との関係（森林伐採・パームヤシ油など）

プログラムの  
ねらい

SDGsの狙い  
世界の地域と、日本人は、つながっていることを知る。  
そして、できる活動を考えて、行動する。

## プログラムの内容

## 1. 導入

SDGsのことについて、大まかに知る。  
ラオスの子どもの話（貧困・飢餓・教育など）

## 2. ボルネオと日本の関係

森林伐採・焼き畑農業・異常気象  
パームヤシ畑・

私たちとの関係 木を輸入（オリンピック関連・  
コンビニの商品の半分以上に、パームヤシ油が  
入っていること。植物油脂としか書かれていない。  
私が、していること

ラオスに、文具を届ける活動

ボルネオの土地を買って、植林活動の手助け

## 3. まとめ

自分ができること。→ 親に話す。友達と話す。エコな生活を送る。



写真が撮れなかったので、  
授業で使用した物です。

## 受講者の反応

オランウータンがかわいそうと、泣きながら話す子がいた。（オランウータンは、何もしていないのに、人間に撃たれるなんて。）感性の強い子には、衝撃かもしれないと思った。  
普段の生活で、できることをしようと感想があった。